

第9回自治推進委員会のまとめ
平成23年8月31日開催

1. 参画と協働の検証（Bカテゴリー）について ※印は検証シートによる意見
- ・各委員が提出したBカテゴリーの検証シートの内容は、意見等とあわせて次回までに事務局でまとめる。（4段階の検証結果については平均値を算出する）

①文化振興課「文化活動推進経費」の検証

（検証結果平均；参画 C、協働 C）

- ・熊本市がどのように文化の特性を生かして、文化を醸成していくかというところを、行政が市民に参画を求めたり、協働を求めたりした方向性や具体的な計画などがあれば良い。【松崎委員】
 - ・助成事業に参画・協働を進める仕掛けを、入れることも考えられるのではないかな。【上野委員長】
 - ・市民参加型の検討会議を組織するべきではないか。【西村委員】
- ※市民との関わりが見えない。【上野委員長】
- ※一般市民との協働は困難であるため、関係団体、有識者等で実行すればよいのではないかな。【岩下委員】
- ※助成する側、される側の関係で終わっているのではないかな。【長塩委員】
- ※文化協会や邦楽団体に偏りすぎているのではないかな。もう少し幅広い市民の参加が検討できないかな。【中島久美子委員、中島洋一委員】
- ※助成事業の中に、参加団体や市民の意見が反映できる仕組みが欲しい。【松崎委員】
- ※参加団体との共通目標設定をすることも必要なのではないかな。【松崎委員】

②農業政策課「農業後継者育成経費」の検証

（検証結果平均；参画 B、協働 B）

- ・就農希望者の相談窓口をNPOに託すなど工夫してはどうか。【平橋委員】
- ※ハローワークと連携して新規就農者を確保してはどうか。【岩下委員】
- ※予算が少ない。最低5,000千円程度は欲しい。【岩下委員】
- ※カジュアルなディスカッションを継続して開催するなどの意見交換の方法論も検討してはどうか。【中島洋一委員】
- ※後継者クラブ側からの提案事業が出るようにして欲しい。【松崎委員】
- ※各支部への独自事業や研修に対しても直接的に補助することで協働することを考えて欲しい。【松崎委員】
- ※教育との連携を図り、後継者となり得る小中学生への体験学習をさせることが必要である。【吉田委員】

③障がい保健福祉課「夏休みの障害児・家族支援事業」の検証

(検証結果平均；参画 B、協働 B)

- ・プログラムへの市民の関与も望まれる。【松崎委員】
- ・障がいに関する市民団体と協力するべきではないか。【上野委員長】
- ・実行委員会を組織し、そこがボランティアを募集するなど運営していくべきではないか。【西村委員】
- ・ボランティアに交通費程度も支給するべきではないか。【平橋委員】
- ※ボランティアが労働力として扱われているのではないか。【上野委員長】
- ※もう少し、ボランティアへの研修を充実したほうが良い。【長塩委員】
- ※ボランティアの募集だけではなく、事業本体から協働で考える必要があるのではないか。【中島久美子委員】
- ※固定化した委託事業のように見える。【松崎委員】

2. 市政全般（C カテゴリー）の抽出方法について

- ・資源ごみリサイクルについての事業を抽出したい。【岩下委員】
 - ・災害関係で、自主防災クラブ、要援護者支援についての事業を抽出したい。【吉田委員】
 - ・情報公開条例の見直しやパブコメ、審議会、職員研修について取り上げて欲しい。【西村委員】
 - ・地下水保全に関して水道事業を取り上げて欲しい。【松崎委員】
- (検証事業一覧は次ページのとおり)

【参考】

検証結果A～Dの集計

事業		A	B	C	D	平均点	平均
①文化振興課「文化活動推進経費」	参画	0人	3人	6人	0人	2.67	C
	協働	0人	2人	7人	0人	2.44	C
②農業政策課「農業後継者育成経費」	参画	1人	8人	0人	0人	4.22	B
	協働	1人	7人	1人	0人	4	B
③障がい保健福祉課「夏休みの障害児・家族支援事業」	参画	1人	4人	3人	1人	3.11	B
	協働	0人	6人	1人	1人	3.25	B

(A＝6点、B＝4点、C＝2点、D＝0点として集計し、平均値は5点以上をA、3点以上～5点未満をB、1点以上～3点未満をC、1点未満をDとする)

◎検証事業一覧（Cカテゴリー）

カテゴリー・局	細事業名・コード	担当課	参画の手法	協働の形態	協働の相手方
C 総務	防災に関する啓発経費 2302	危機管理防災室		④事業協力	各自主防災クラブ
C 環境保全	プラスチック製容器包装リサイクル推進経費 6305	廃棄物計画課	⑦地域説明会	⑦その他	市民
C 上下水道	水資源確保経費 8703	経営企画課	①ホームページ、市政だより等による積極的な広報活動 ⑧検討委員会	④事業協力、 ⑤共催	・豊かな地下水を育むネットワーク ・エコパートナーくまもと ・白川中流域水田活用協議会